

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

Table with columns for 事務事業名, エネルギー関連事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '0603 時代に合った自治体運営' and '0603 時代に合った自治体運営'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the association's purpose and activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for 'Seminar, lecture, etc.' and 'Citizens, staff'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 28年度 (実績), 29年度 (実績), 30年度 (計画), and 期間限定総投入量. Includes sub-tables for '事業費' and '人件費'.

Table with columns for 29年度事業費 実績 (千円) and 30年度事業費 予算 (千円). Includes a '合計' row.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, and 32年度の事業内容. Includes a list of activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	エネルギー関連事業（原子力協議会参画事業）	事務事業No.	60305000278	所属課	企画課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

- ・（社）茨城原子力協議会は、昭和54年に設立された。県内全市町村が会員として参加している。
- ・地球温暖化問題により、CO2の削減などが喫緊の課題となっている。
- ・太陽光発電や風力発電・バイオマス発電・エコカー等に関心が高まっている。
- ・福島原発の事故により、原子力の安全性や除染に関する関心が高まっている。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

意見や要望はない。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持	新エネルギーと原子力は分けて考えたほうがよい。 原子力協議会から退会する場合、協議会の理解を得る必要がある。
------	---

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 総合計画後期基本計画「生活環境の保全」の基本方針に新エネルギーの利用が示されている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である エネルギーと生活環境は密接な関わりがあるため、公共関与は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 協議会の運営を大きく変えることは困難である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響無 協議会からの脱会については特に問題はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 協議会に参加している以上は負担金を支払わなければならないので削減の余地はない。必要最小限の人件費となっている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担を求める性格の事業ではない

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(2) 全体総括（振り返り、反省点）
 福島原発の事故以後、市民の意見も分かれているところであり、協議会への参加を続けることの是非を考える必要性を感じています。

(3) 今後の事業の方向性

<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
---	--	---

(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	×
	維持 低下	×	×	×

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

(6) 事務事業優先度評価結果

成果優先度評価結果	
コスト削減優先度評価結果	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>